

大阪市水道局 東部水道センター

【宅内部】 給水装置工事 事前検査チェックシート

次のとおり給水装置工事において事前検査を実施したので報告します。

指定給水装置工事事業者名	
給水装置工事主任技術者名	
工 事 場 所	区

検査（確認）年月日： 令和 年 月 日

適・・・○ 否・・・× 該当なし・・・—

検 査 項 目	検 査 （ 確 認 ） 内 容	確 認
共 通	申込場所と検査場所が同一であること。	
	給水管および給水用具は省令で定める性能基準適合品であること。	
	必要な耐圧性能が確保され、給水管継手等に漏水がないこと。	
	水道水以外の配管と接続（クロスコネクション）されていないこと。	
	配水管等の水圧に影響を及ぼすおそれのあるポンプに直接連結されていないこと。	
	戸数及び階層が申請どおりであること。	
	各給水用具の位置、数量がしゅん工図面のとおりにあること。	
	メータ回りの配管およびメータボックスの設置位置がしゅん工図面のとおりにあること。	
	メータ口径40mm以下は、メータ用伸縮継手又はメータ用フレキシブル継手を取り付けていること。	
	検針、取替に支障のない適正なメータ設置環境であること。	
直結増圧方式	集合住宅等メータが複数ある場合、誤接配管に注意し、当該メータの給水がその部屋番号に給水されていることを確認すること。またメータボックス内に部屋番号札などを取付け、行先明示を行うこと。	
	立て管頂上部に吸排気弁が設置されていること。	
	増圧装置は、しゅん工図面のとおりの機種、仕様等であること。	
	増圧装置は、「水道用直結加圧型ポンプユニット（JWWA B130）」の基準を満たしていること。	
受水槽方式	増圧式逆流防止器は、増圧装置の一次側に設置することを基本とするが、増圧装置一次側で負圧にある場合は二次側に設置すること。	
	受水槽の寸法や形状、有効容量がしゅん工図面のとおりにあること。	
	流入管に検水栓が設置されていること。	
	給水口へ逆流防止として適正な吐水口空間が確保されていること。	
	オーバーフロー管口径が適正で、間接排水や防虫網の措置がされていること。	
	通気管が適正に設置されて、防虫網の措置がされていること。	
水抜き管は間接排水の措置がされていること。		

※ しゅん工検査時、現地で相違が確認された場合は、不合格になる場合があります。